様式３(2020.08改)

作成日　令和　3年　4月　15日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390700280
事業所名	グループホームソラスト白金

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。管理者は、地区の一員として町内会の役員会に出席し、地区の祭礼や敬老会、保育園の行事や防災訓練などに参加しているが、今年度は、コロナ禍により行事参加などは臨機応変に対応している。コロナ禍ではあったが、毎年恒例の節分行事は、感染予防対策をしながら保育園児を招き豆まきや鬼と写真を撮ったりして交流を深めている。中学生の福祉体験や、ボランティアの受け入れは中止としている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	新型コロナウイルスの影響により今年度6回は、すべて書面開催としている。例年では、入居者、家族、民生委員、地域包括支援センター職員の参加を得て実施している。入居者の活動や運営状況、事故などの報告や、出席者との情報の交換をしている。提案等は職員会議などで協議し運営に活かしている。議事録は関係者に送付している。議事内容の明確さを課題としている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	新型コロナウイルスの影響で臨機応変な対応としている。行政担当窓口には介護保険更新の手続きや申請の代行業務、、事故報告やサービスの取り組みなどを伝え、情報交換をしている。現状では、メールや電話、文書などを利用しながら協力関係を築いている。市主催の研修会についてはコロナ禍により中止となっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族からはコロナ禍により、訪問や運営推進会議、家族会などは自粛状態となっているため、メールや電話などを利用して意見や要望を聞きケアや業務改善に役立てている。入居者の日常の様子や行事の写真などが入った「白金通信」を毎月発行して家族に安心を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議は新型コロナウイルスの影響により書面での開とし、会議録などを通して家族や地域との情報のパイプが途切れないよう努めている。面会や訪問、運営推進会議、家族会などは自粛状態となっているため、ライン連絡や電話など家族が対応できる方法で意見や要望を聞きケアや業務改善に役立てている。食事は季節感のある食事や入居者の希望を取り入れたり、今まで慣れ親しんできた家庭料理を基本に毎食手作りして提供し、入居者もマスクを付け食事やおやつ作りをして食べる楽しみに繋げている。平常時は気軽に出掛けられる環境にある。外出の自粛が続いている中で、コロナの情報を確認し、人出の少ない時期や出掛けるタイミングを見計らい、少人数でマスクをするなど感染予防対策を徹底してドライブで車窓から四季折々の花や景色を眺めたり、鶴舞公園などで四季の花見などをして気分転換を図るようにしている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										